

ウトロ高原4遺跡発掘調査報告書

松田 功

099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49番地, 斜里町立知床博物館

Report of Archaeological Research at The Utoro-Kougen 4 Site, Shari Hokkaido.

MATSUDA Isao

Shiretoko Museum, 49 Honmachi, Shari, 099-4113, Japan. isao-m@apost.plala.or.jp

例言

1. 本書は、北海道斜里郡斜里町字ウトロ高原17番地他に所在するウトロ高原4遺跡（登録番号：I-08-346）の発掘調査報告書である。
2. 調査は、斜里町立宇登呂小中学校グラウンド造成工事に伴う埋蔵文化財保護のための緊急発掘調査である。
3. 調査年度、期間、面積ならびに調査体制は以下の通りである。
平成13年度
・発掘調査期間
平成13年9月1日～平成13年9月15日
・調査面積 944m²
・調査体制
調査主体者 斜里町教育委員会教育長
阿部廣太郎
事務局 斜里町立知床博物館総務課長
中川 元
担当者・調査員 斜里町埋蔵文化財センター
調査係長 松田 功
斜里町埋蔵文化財センター臨時職員
門間 勇
発掘調査作業員 田中定雄, 小田桐章子,
高橋英子, 吉川尚子
4. 本書の執筆は松田が行なった。また、図面および図版作成については中村、門間が担当した。

5. 遺跡出土の石器材質肉眼鑑定は、斜里町立図書館の合地信生館長（平成13年時）にお願いした。
6. 発掘調査区、層位図、遺構平面及び断面図、遺物平面・垂直分布図、土器拓本、石器実測図にはそれぞれスケールを入れ縮尺比を示した。また、遺物写真図版も実測図の縮尺に合わせた。
7. 遺跡位置図には、国土地理院発行の1/25,000地形図、宇登呂（NL-55-36-4-2）の一部を使用した。また、調査区などの平面図中に付している方位は全て磁北である。
8. 出土遺物の保管・管理は、斜里町教育委員会（斜里町埋蔵文化財センター）で行う。
9. 文章等に記載している略号は以下の石質を示している。
OB：黒曜石, AND：安山岩, HS：硬質頁岩,
CH：チャート（硅岩）, AG：メノウ, JP：ジャスパー（硅岩）, SP：蛇紋岩, GR-SCH：緑色片岩, BL-SCH：青色片岩, B-SCH：黒色片岩,
AMP：角閃石, SS：砂岩, MS：泥岩, RH：流紋岩, PU：軽石。
10. 発掘調査及び本書作成にあたり、以下の機関、会社のご協力、ご指導、ご助言を賜りました。ここに氏名を記し、感謝申し上げます（敬称略）。
北海道教育委員会生涯学習部文化課, 土橋工業株式会社。

遺跡の概要

当遺跡は北緯44度03分48秒、東経144度59分43秒、斜里市街地より一般国道334号線を北東方向に約40km進んだところにウトロ中心市街地がある。その中心市街地を望む中位段丘面上に旧宇登呂小中学校や遠音別神社があり、その神社の南西側に広がるグランド用地でもある緩斜面上に遺跡は位置する(図1)。遺跡がのる中位段丘面は、新第三紀堆積物を基盤としており、その後の第四紀洪積世、約12万年前の下末吉海進によって段丘が形成されたと考えられている。また、この中位段丘面上には、山から流れ落ちる河川の他に、湧き水が作った小川などがいくつも海岸に向け流れ落ちている。当遺跡もこの湧き水が作った小さな湿地を見渡す斜面上にあり、湿地に集まる動物を狩猟するには都合のよい場所となっている。

調査の結果、遺構は確認できなかった。調査区(図3)や遺物平面・垂直分布図(図4)を見てわかるように遺跡は緩やかな斜面部分に作られていた。斜面中程から急斜面となっており、ここから湿地にかけて遺物は見つからなかった。検出された遺物の内訳は、土器7点、石器811点、レキほか23点の合計841点であった。

調査区内の堆積層はI～IV層まで確認した。遺物を包含する文化層はI層であったが、層厚が5～15cmと薄く、漸位層を加えても20cm程度であった。I層：黒褐色土、縄文前期並びに早期の文化層を含む。II層：暗褐色土～暗黄褐色ローム質土。III層：暗黄褐色～暗赤褐色軽石層。IV層：砂レキ～レキ岩盤層。

遺物

遺物は全てI層包含層からの出土である。時期は縄文早期と前期のものと考えられる。以下、土器(図2)、石器(図5～9)の順で説明する。

土器

図2の1～7はいずれも縄文早期の土器片と考えられる。胎土は緻密で、硬く、焼成も良い。色調は外面がオレンジ色で内面が暗褐色である。全て無文の胴部破片である。推測の域を出ないが、幌別川口遺跡でも記録されている沼尻式土器と類似する。

石器

図5の1～18は石鏃および石槍である。黒曜石(OB)のみ特に石質の記載をしない。1は返し部分が僅かに確認できる有茎石鏃で、2は無茎石鏃である。欠損しているが、3・4のように肩が張るタイプもある。13～16は柳葉形の石槍である。18は小型棒状の石鏃と考えたが、石錐の可能性もある。

図5の19～24は石錐(ドリル)と考えられる。19は棒状原石を利用したもの、21～24はナイフを再加工し、再利用したものと考えられる。

図5の25～30、図6はナイフである。両面調整のものや片面調整のものなどがある。

図6の11・19の石質はHSで、18はAGである。

図7はスクレイパーである。サイド・エンド・ラウンドなどのタイプがある。中には硬質頁岩(HS)製のものやジャスパー(JP：硅岩)製のものもある。

図8の1～18はリタッチ・フレイクである。8・14・16・18はHS製で、17はJP製である。

図8の19～54は細石刃様のフレイクを集めたものである。両端とも欠損しているものや打痕側、端遠部側いずれかが欠損しているものなど見られた。

図9の1・2は石核で、1はAG製である。

図9の3～5は石斧で、1・2はGR-SCH、3はBL-SCH製である。

図9の6～8は表土採取のものであるが、同じくI層のものと考えて良い。6は19cmの長さを有するナイフである。

まとめ

調査に至った経緯を簡単に述べると、当初は斜里町立宇登呂小中学校建設およびグランド造成工事をするとのことと事前に遺跡があるか否かを調査することとなった。現地は数十年も経過したカラマツを中心とした植林地であり、手入れが十分でなく範囲確認調査ができる状態ではなかった。このため、工事現場の担当者を通じて、伐採後、調査に入ることにした。伐採後、すぐに範囲確認調査を実施した。その結果、土中より遺物が発見され、包含層と考えられる黒色土も確認した。早急に遺跡登載手続きをし、ウトロ高原4遺跡と名づけて調査をすることとなったのである。

土器の検出数が少なかったため、時期の完全なる確定には至らなかったが、出土した石器の形態から、縄文早期や前期を中心とした遺跡であることが判明したことから、石器製品の占める割合が石器全体の3割程度と高く、中でも石鎌やナイフスクレイパーが多いことからキャンプサイト的な遺跡であることなどを類推することができた。しかしながら、住居や簡易的なその他の遺構でさえ検出できなかったことから、遺跡の本質的な性格を

考察し、当時の自然環境や生活の様子に迫るまでには至らなかった。

この他に、細石刃と考えられる剥片・碎片も数十点（図8下段の石器群）見ついていることから、縄文より古い別の時代の人々がいた可能性も十分考えられる。今後、これらの石器形態や同様な出土例が見られる遺跡などを更に調査、分析した上で、再度、当遺跡の性格も含め考察することとし、今回のまとめとしたい。

報告書抄録

ふりがな うとろこうげん4いせき
 書名 ウトロ高原4遺跡
 副書名-
 巻次 -
 シリーズ名 -
 シリーズ番号 -
 編著者名 松田 功
 編集機関 斜里町教育委員会
 所在地 〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町12番地 TEL 01522-3-3131
 発行年月日 平成16（西暦2004）年3月28日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	期間	面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ウトロ高原4遺跡	斜里郡斜里町ウトロ高原19番地他	01545	346	44°03'43"	144°59'43"	2001.9.1 ～9.15	944m ²	斜里町立ウトロ小中学校グラウンド造成工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ウトロ高原4遺跡	遺物包含地	縄文早期, 前期		縄文土器, 石器	縄文前期のキャンプサイト遺跡, 石器の三割がナイフなどの製品で占められる



図1. 遺跡位置図.



図2. 遺構外出土遺物(1) 土器Ⅰ層.

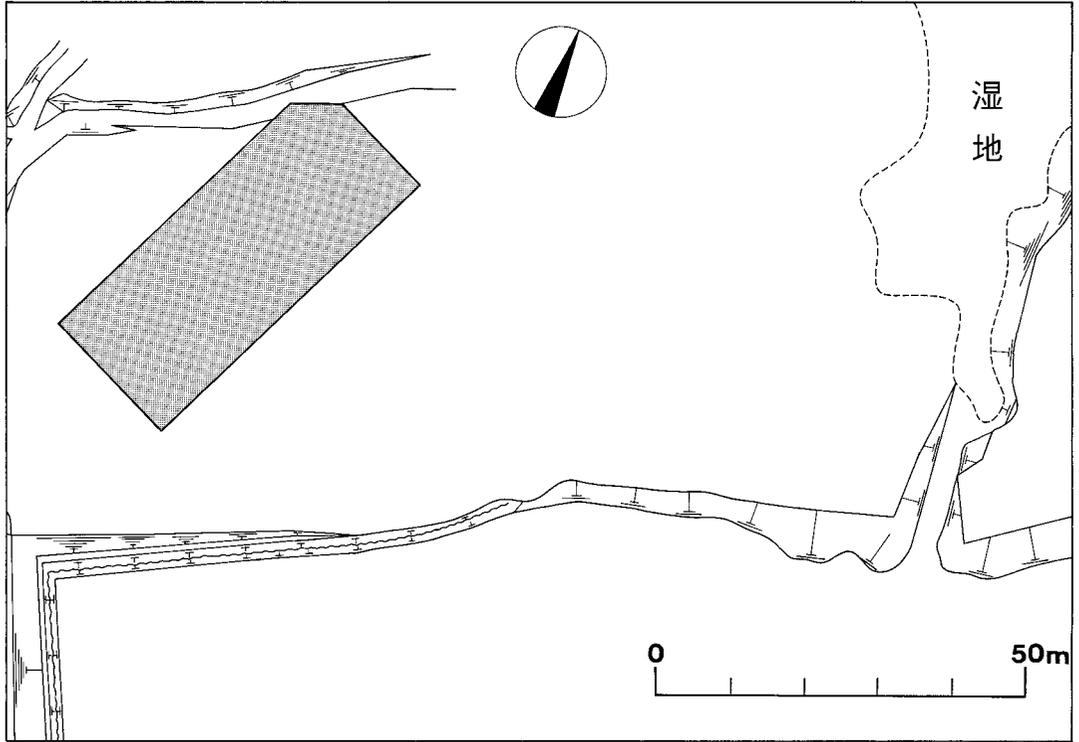


図3. 発掘調査区.

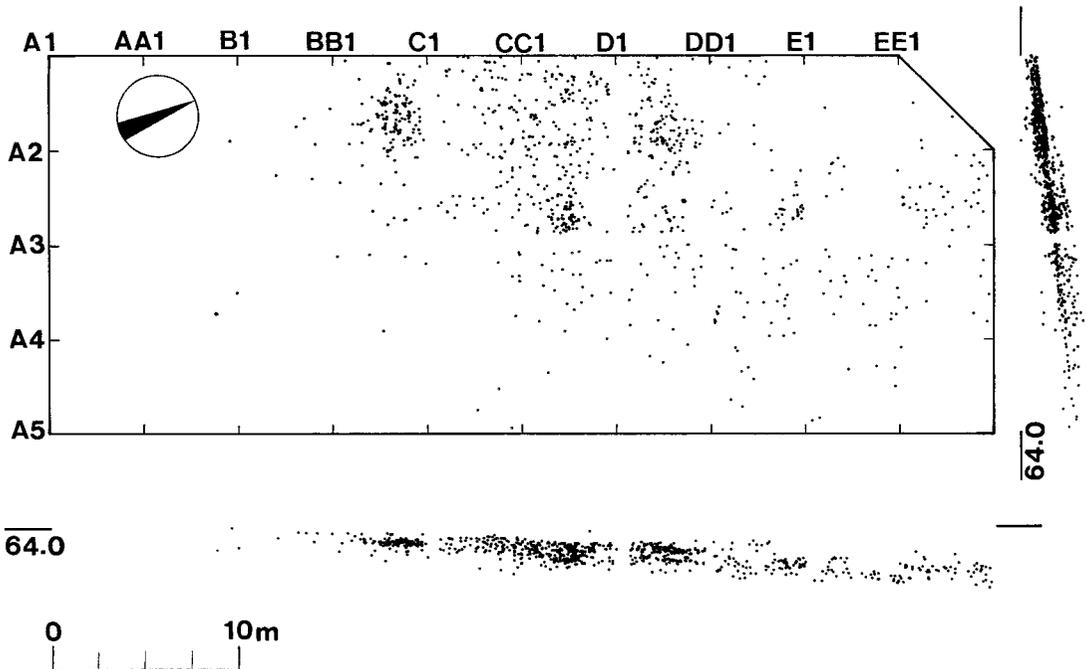


図4. 全遺物平面・垂直分布図.

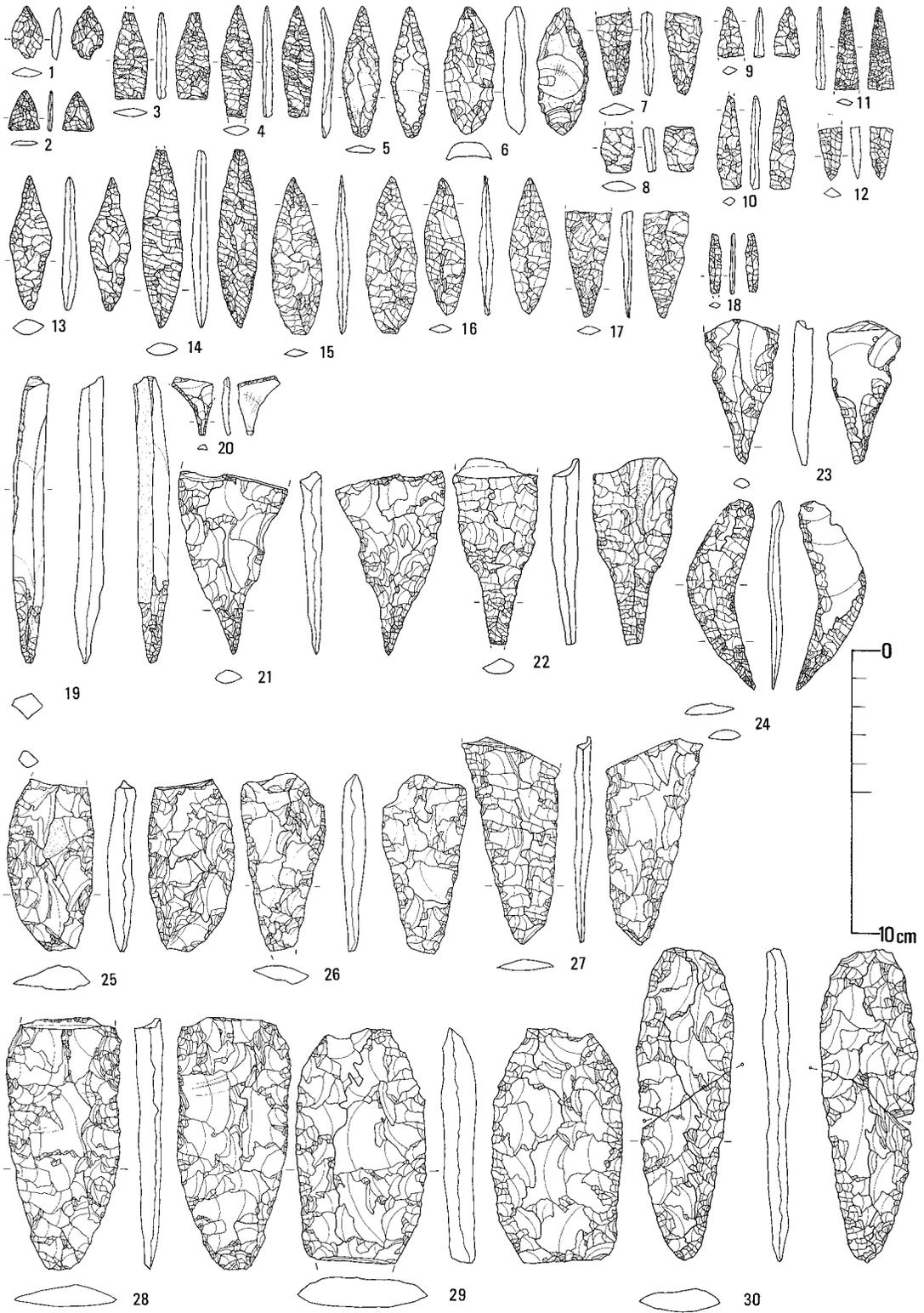


図5. 遺構外出土遺物(2) 石器I層.

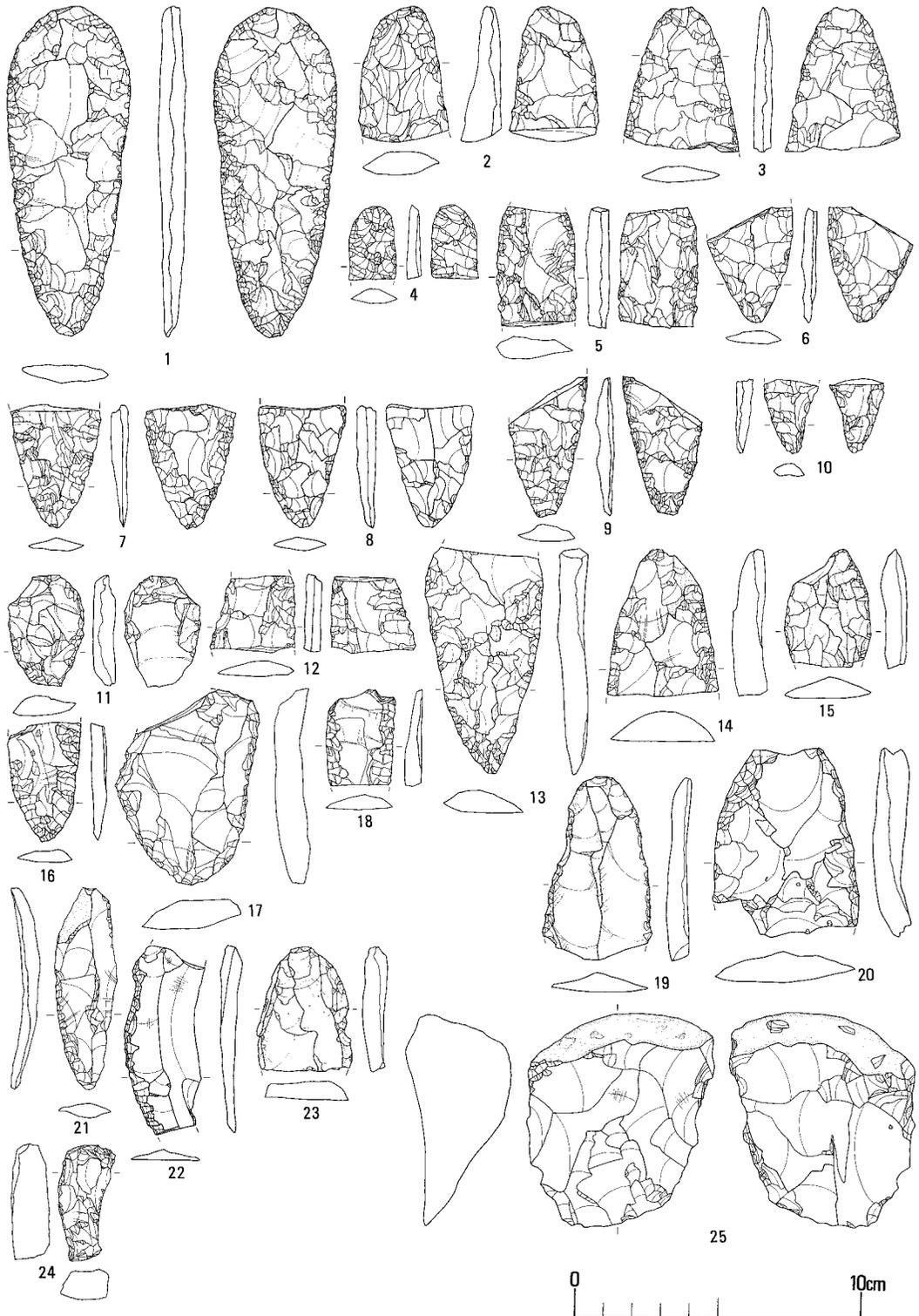


図6. 遺構外出土遺物(3) 石器I層.



図7. 遺構外出土遺物(4) 石器I層.

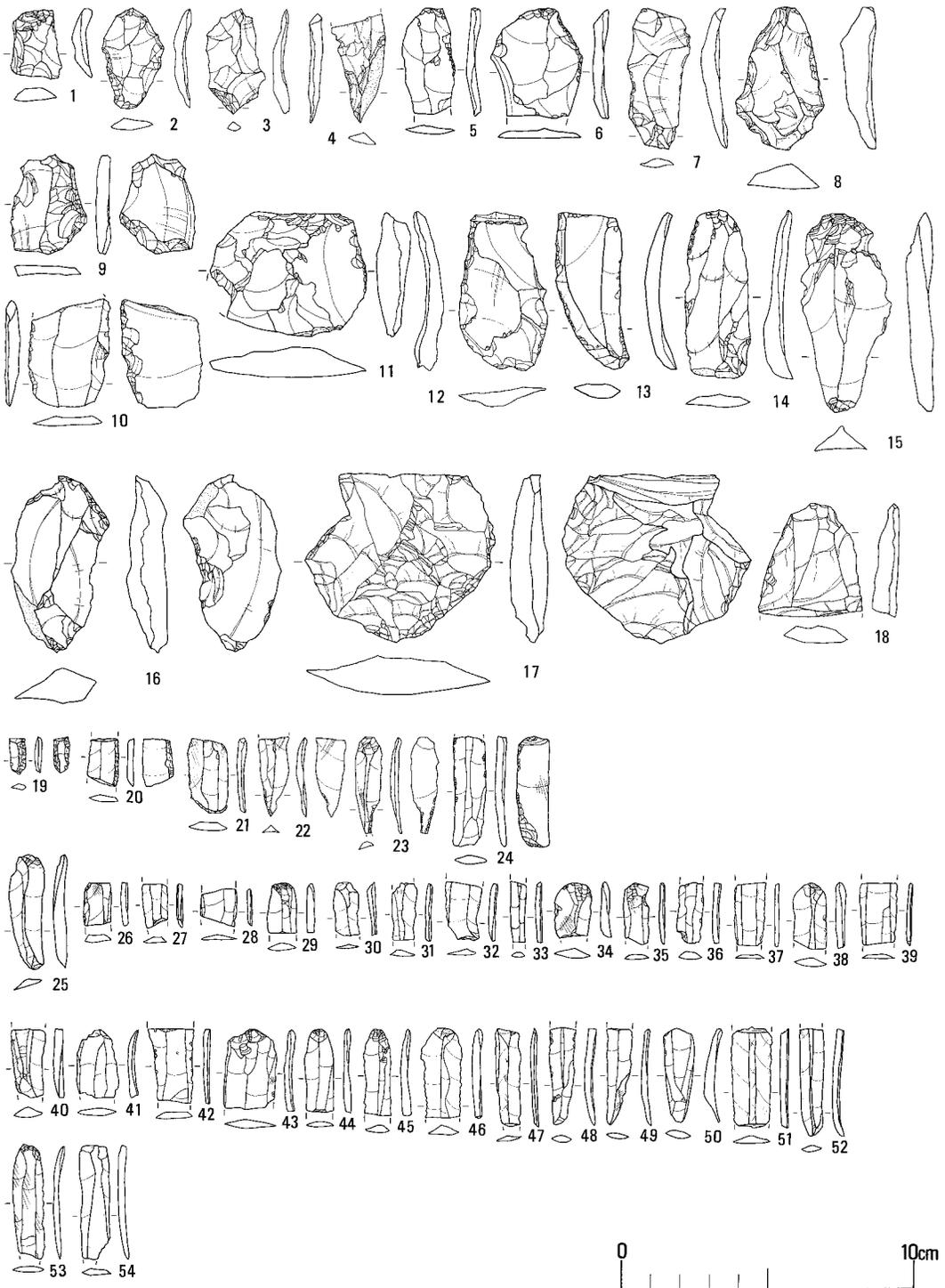


図8. 遺構外出土遺物(5) 石器I層.

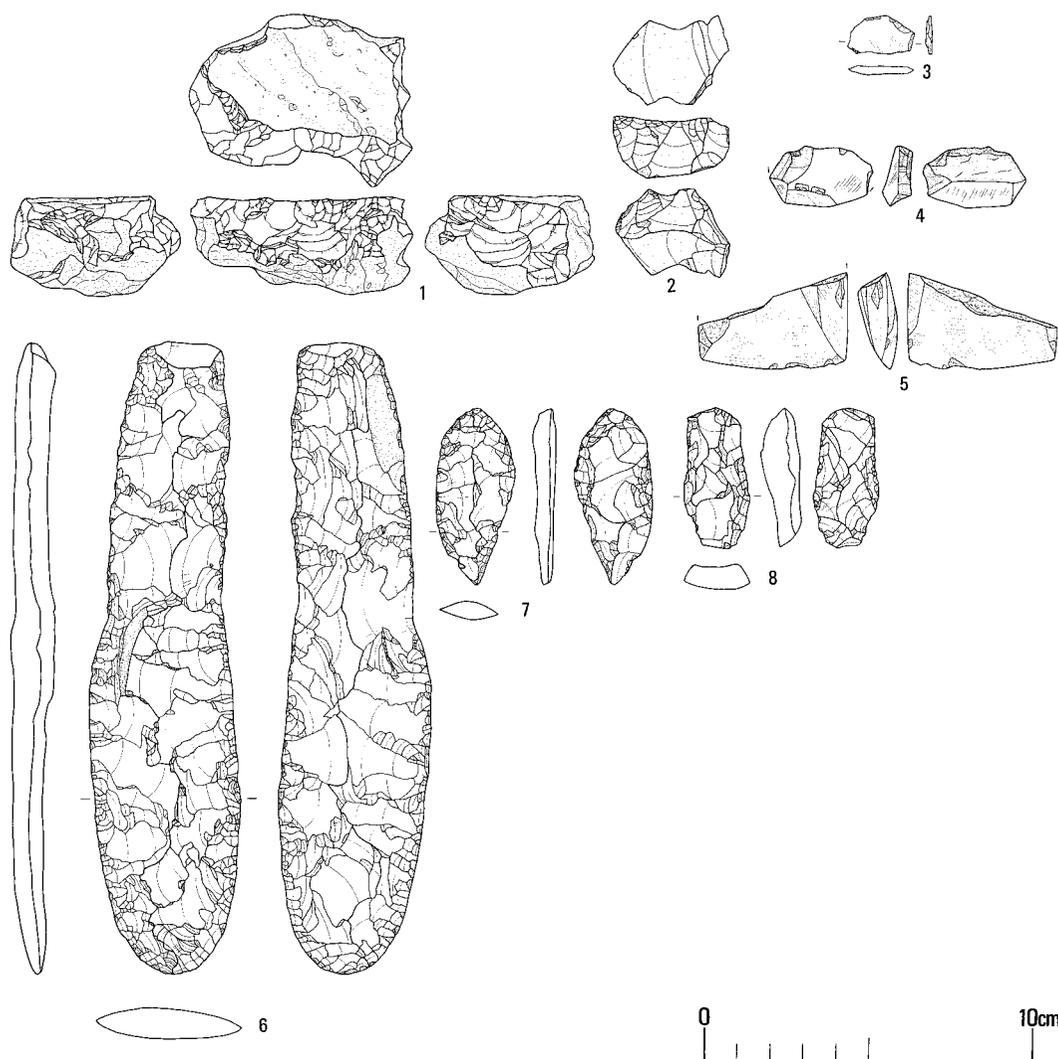


図9. 遺構外出土遺物(6) 石器 I 層.



写真1. 遺構外出土遺物(1) 土器 I 層.



写真2. 遺構外出土遺物(2) 石器I層.



写真3. 遺構外出土遺物(3) 石器I層.

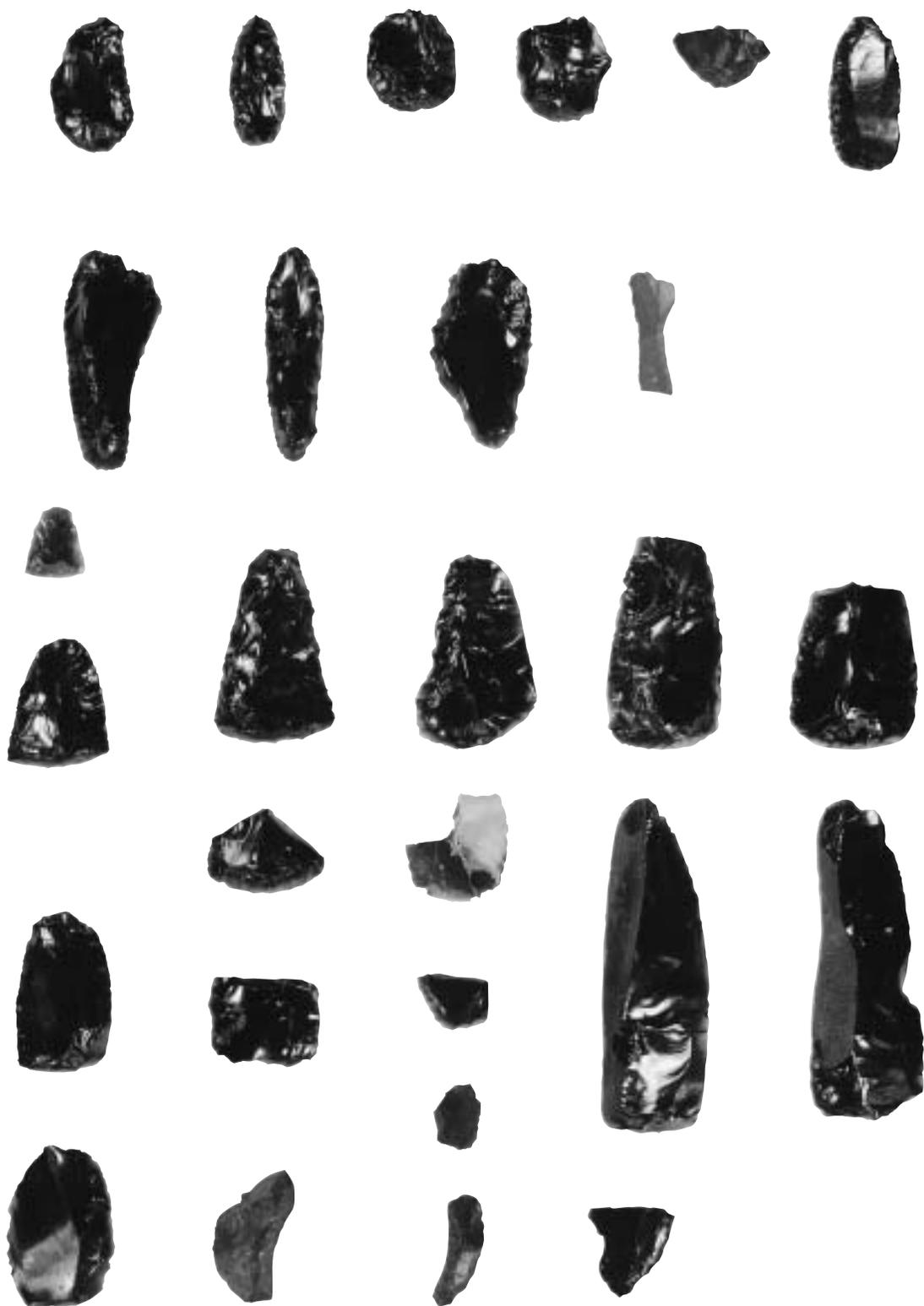


写真4. 遺構外出土遺物(4) 石器I層.



写真5. 遺構外出土遺物(5) 石器I層.



写真6. 遺構外出土遺物(6) 石器I層.



写真1. 発掘現場風景



写真2. 同上